

分別のその先は？

分別収集された資源物はリサイクルされます

ご家庭で分別していただいた「ごみ」がどのようにリサイクルされているか、シリーズで紹介していきます。

今月は **古紙類** です。

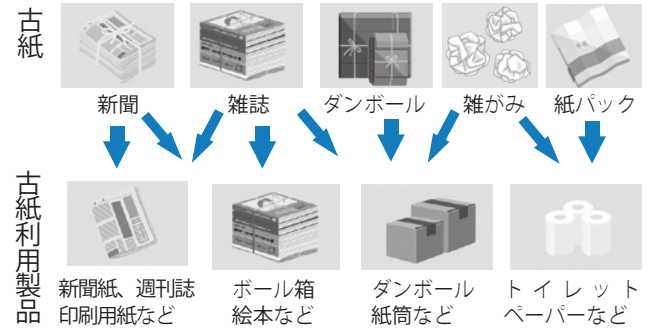
古紙類…新聞・新聞チラシ、本・雑誌・冊子、ダンボール、牛乳パック、雑がみ（その他の紙類）

安来市で回収された古紙は、種類ごとに重さ1トンほどに圧縮梱包されます。その後、製紙工場に出荷され、温水と薬品の入った装置で溶かし、一本一本の繊維にします。この状態のときに古紙に付着したごみやチリ、インクなど不適物を取り除きます。

ごみなどを取り除いた後、漂白脱水の工程を経て、シート上に形成し、紙の原料となる「古紙パルプ」をつくります。この古紙パルプからさまざまな紙製品が作られます。

国内の古紙回収率は、1970年当初40%弱でしたが、現在は約80%の高い回収率に達しています。また、2000年には古紙回収量が国内消費量を上回るように

古紙類のリサイクル



なり、海外へ輸出されるなど、リサイクル体制が確立されています。

古紙類のその先は・・・

それぞれの紙製品になります。

分別のポイント

紙のリサイクル処理に紙とは異なる材質の麻ひもやビニールひもが混じるとリサイクルができません。そのため古紙類（※雑がみは除く）は紙ひもで束ねてもらうことをお願いしています。



嘆願書などの書簡ファイル 16 巻

加納美術館では、世界の恒久平和をこの安来から世界に訴え続けた、加納莞菴の活動を紹介する特別展を開催中です。
加納莞菴は、1949年から
のフイリピン戦犯の助命を求め
る活動をきっかけとして戦犯が
許されたあとも、世界の平和を
求める活動を続けました。
本人の従軍画家時代の日記
や、フイリピンの大統領ほか世
界の要人に向けた手紙のファイ
ルなどの実物資料をご覧いた
だけます。また、ドキュメンタリー
ビデオにより、活動の全体も見
ただけます。



油彩「薔薇」©加納莞菴

絵画作品では、莞菴が特に好んで描いた花をテーマにした作品にスポットを当てて展示をしています。ぜひお出かけください。

【同時開催】
▼小企画展「備前焼山本陶秀名品展」

※美術館の様子を加納美術館公式フェイスブック（FB）で公開しています。
※新型コロナウイルスの状況により、変更になることがあります。
※マスク着用の上、ご来館ください。



特別展
9月28日まで
開催中

戦後75年
加納莞菴が求め続けた恒久平和
いま安来から世界へ

安来市加納美術館だより ☎ 36-10880